

インターネットの画面を保存する方法 (Microsoft Edge)

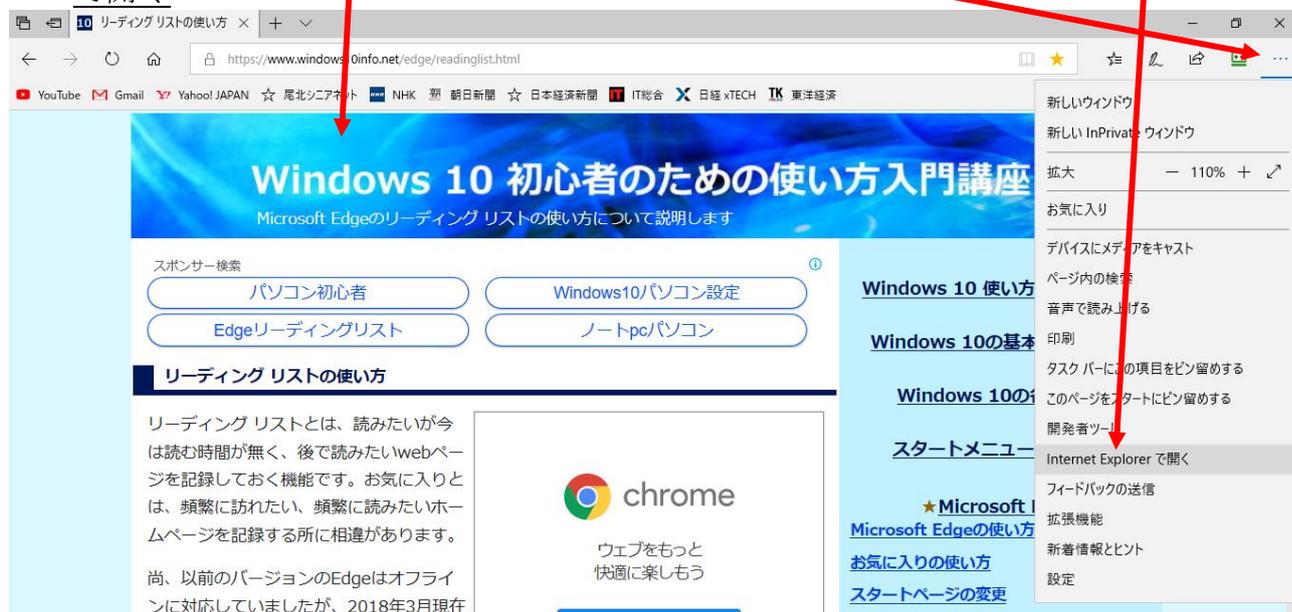
何気なく見ているインターネットの画面ですが、再度見る時のために「お気に入り」に保管し便利に使って見えることと思います。

しかし、ここで問題となるのは、ある日突然、ホームページの作者がページを閉鎖してしまい、見たいと思ったときに見られないことです。

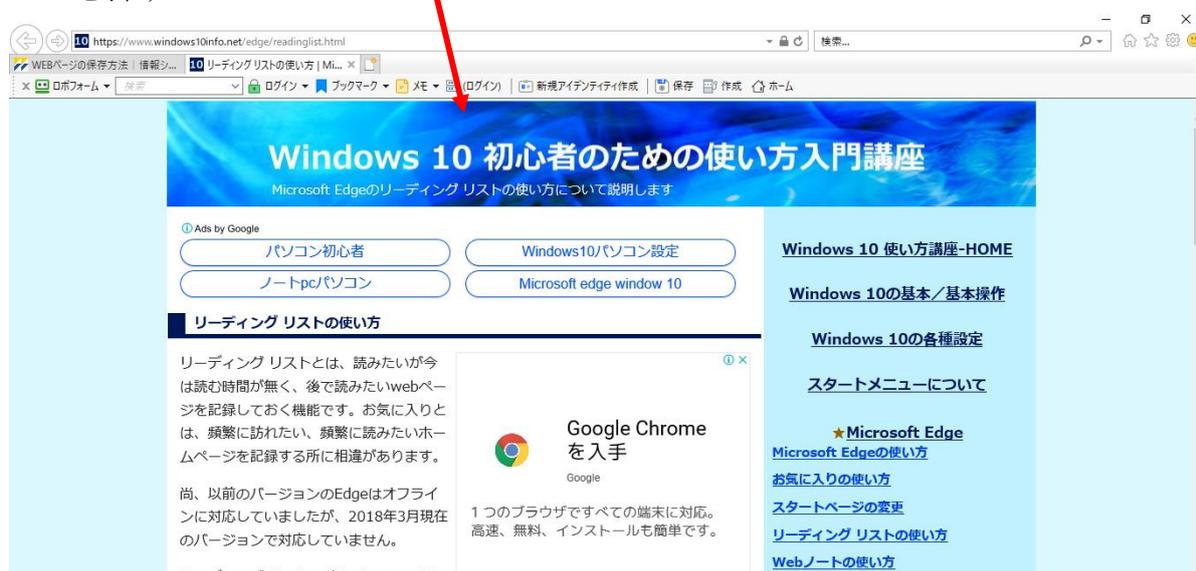
そこで、ホームページ全体をそっくり保存する方法を以下に記述します。

Windows10 標準の Microsoft Edge では、直接の保存操作が出来ませんので、I E で表示させて保存の処理を行います。

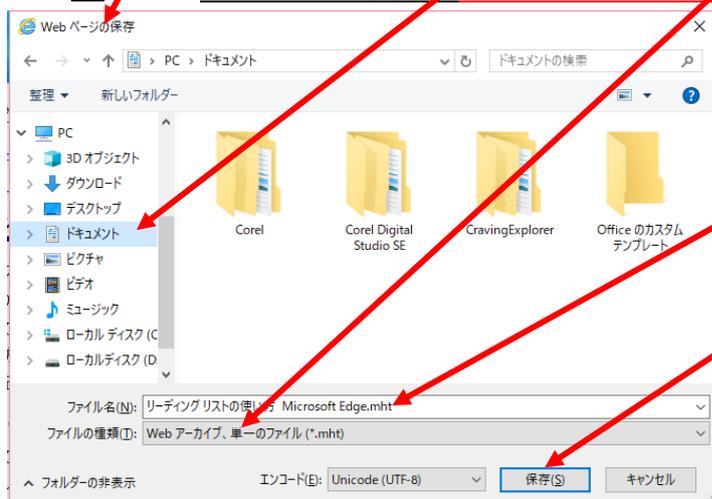
1. Edge で保存したいページを表示 → 設定 (・・・) をクリック → Internet Explorer で開く



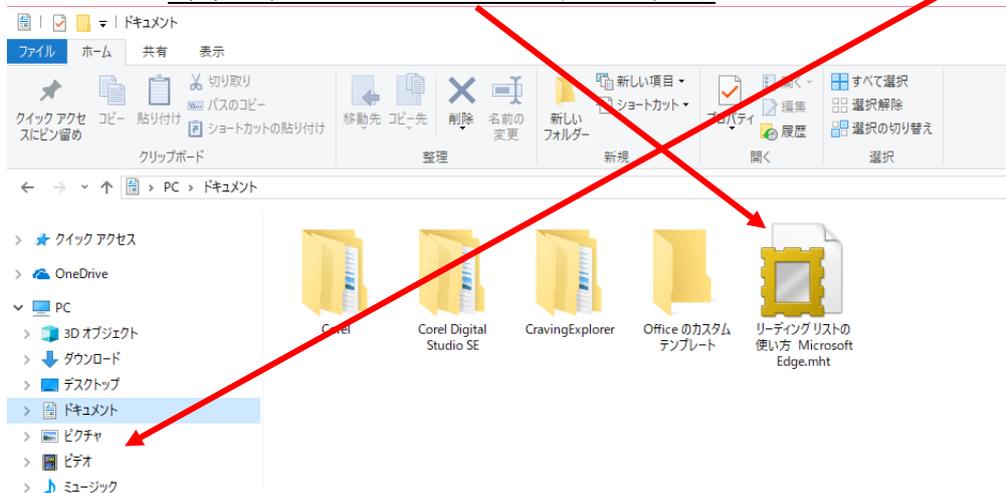
2. Internet Explorer で画面が表示される → 「C t r l」キーを押しながら「S」キーを押す



3. 保存画面が出る → 保存フォルダーを開く → 必要であれば、ファイル名を変える → ファイルの種類を「Webアーカイブ 単一のファイル」を選択 → 保存



4. エクスプローラーで、保存場所を表示 → この例では、ドキュメントに保存されている → 対象ファイルをダブルクリックで開く



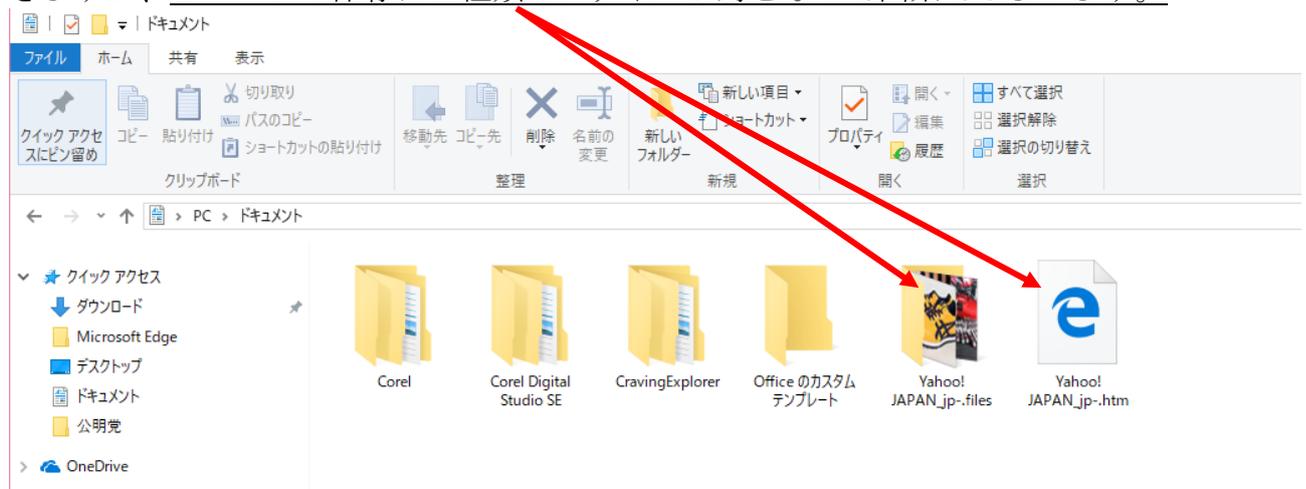
5. 広告など一部の画面は表示されないが、本文はきちんと表示されている。インターネット接続の無いところでもページを見る事ができる。



以上で保存は完了です。

参考

上記、第3項のファイルの種類で、「Web ページ、完全」で保存すると、ほぼ忠実に保存できますが、1 ページの保存に2種類のファイルが対となって出来てしまいます。



「ファイルの種類」	保存内容
Webページ、完全	そのページ内の画像等も含めて、完全に保存します。 保存場所に「〇〇.htm」というファイルと「〇〇.files」というフォルダができます。 <ul style="list-style-type: none">・「〇〇.htm」：そのページのhtmlファイル・「〇〇.files」：画像ファイルやスタイルシートファイル等が保存されている。 IE以外のブラウザ（Netscape等）でも再表示可能です。
Webアーカイブ、単一のファイル	「Webページ、完全」と違い、「〇〇〇.mht」という1ファイルで保存されます。 但し、IE独自の保存形式のため、IE以外のブラウザでは正しく表示できません。
Webページ、HTMLのみ	htmlファイルのみ保存します。画像ファイルなどは保存されません。 画像などが不要で、テキストとレイアウトを保存したい場合に使います。
テキストファイル	画像もレイアウトも必要なく、テキスト情報だけが欲しいときに使います。 保存ファイルは「〇〇.txt」というテキストファイルになります。

アーカイブとは、複数のファイルを1つのファイルにまとめること。

以上